

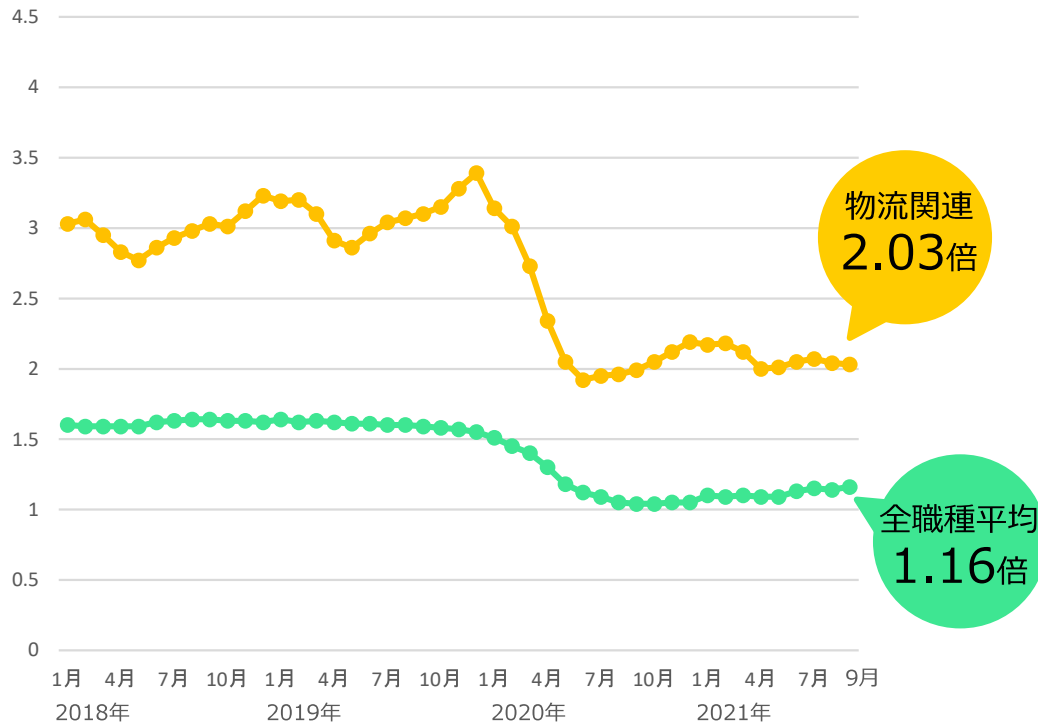
物流業界の採用トレンド

2021年11月

コロナ禍で市況に変化があったものの求人は継続して増加

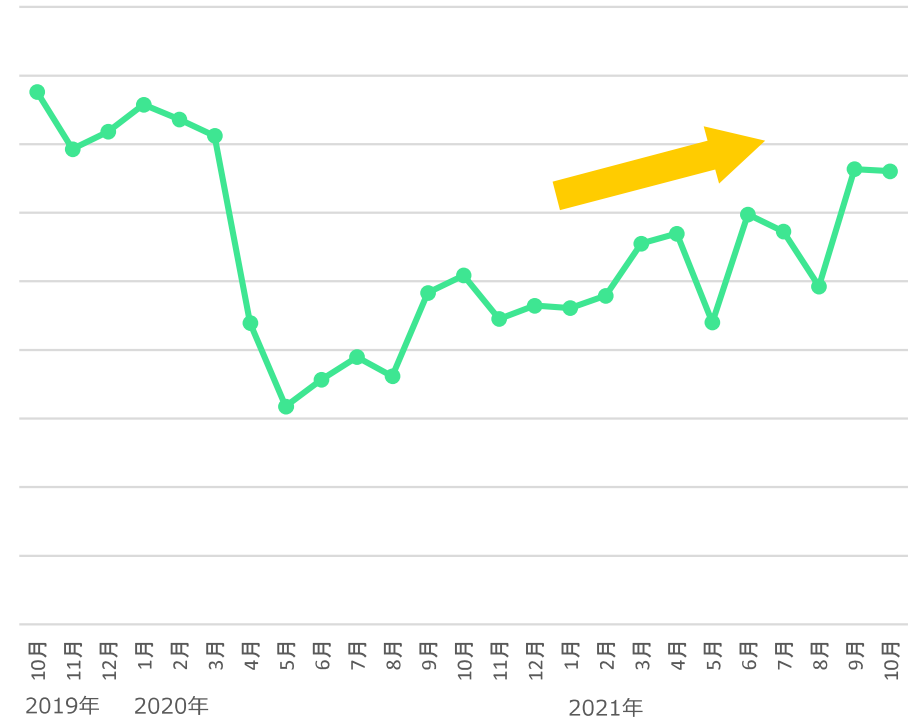
物流業界の採用市況

有効求人倍率



※厚生労働省調べ

掲載件数推移 (主要5媒体)



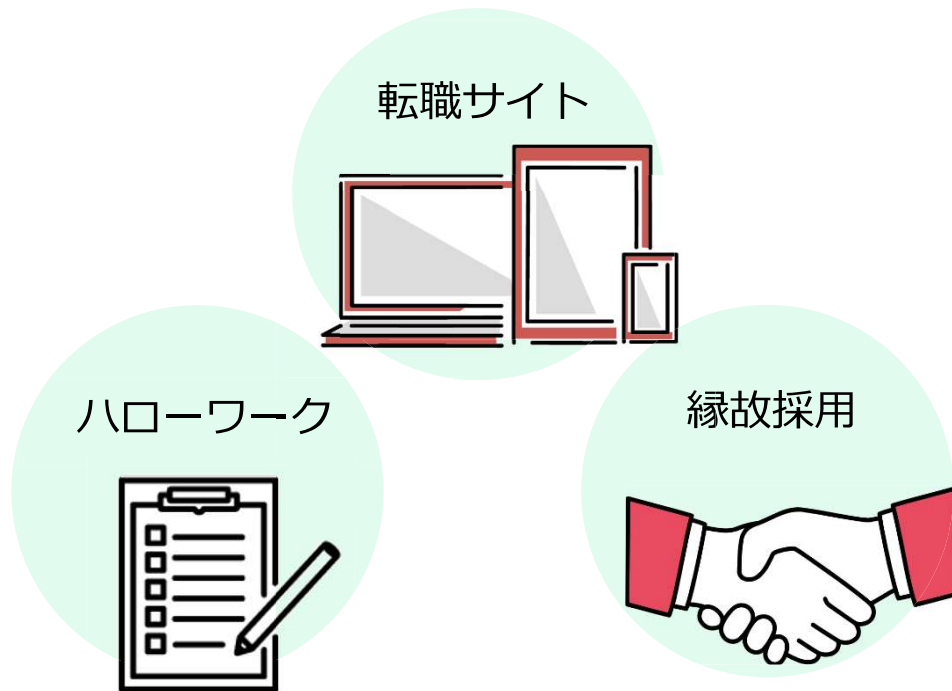
※エン転職調べ

新型コロナの影響で有効求人倍率が急降下したものの、巣ごもりによる個人向け配送のニーズが増え、業界全体としては全職種平均の2倍近い倍率で推移。掲載件数は2020年5月に底を打ったあと増加傾向が続く。

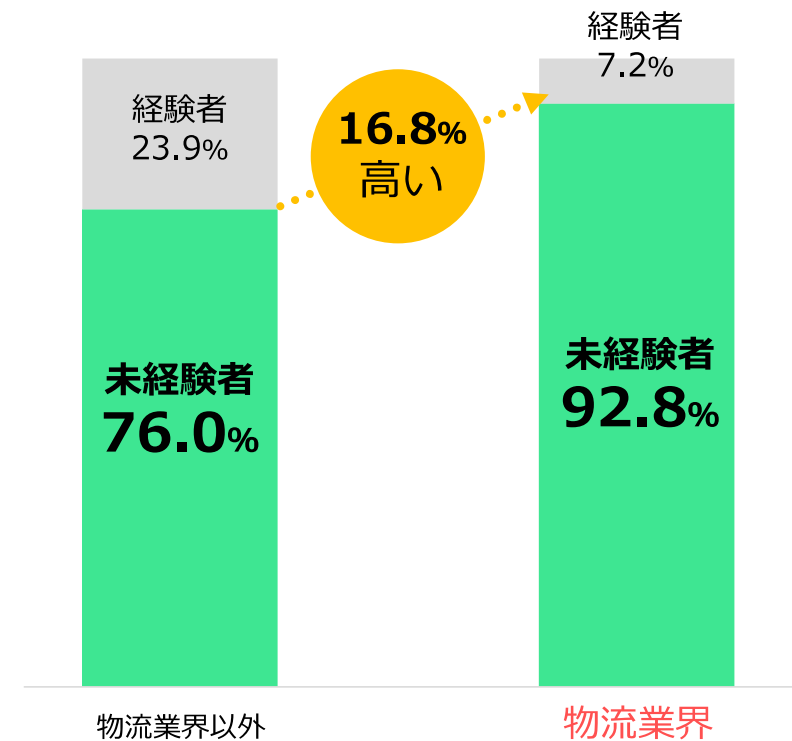
採用が厳しいなか求人以外の手法や未経験者採用が主流に

物流業界の採用活動状況

人材の採用手法



求める人材の傾向 (求人広告)



※エン転職調べ

ハローワークに加え、転職サイトをメインに採用活動を実施。社員紹介など、**縁故採用**に力を入れる企業も多い。
採用傾向は他業界に比べて圧倒的に未経験者募集が多く、**経験よりも若手採用を望む企業が多数**を占める。

厳しい採用市況の中、待遇面での応募の動機形成もポイントに 物流業界の待遇相場（ドライバー）

給与相場

平均年収
(全体)

389万円

月給換算すると
月27.8万円

※賞与2ヶ月計算

働き方

月平均
残業時間

44.8時間

平均
年間休日

100.3日

平均年収
(男女別)

男性

414万円

女性

346万円

平均年収
(年代別)

20代

340万円

30代

423万円

40代

450万円

50代

478万円

ドライバーの場合、渋滞や荷待ち時間の発生で
労働時間は長くなる傾向。

また、全業種の平均年間休日が107.9日のため、
休日数も他業界と比べると少ないといえる。

関連法やDX化など人材不足解消に動く企業が出始める

2022年の採用市況予測

残業時間上限への対策

働き方改革関連法により2024年4月以降自動車の運転業務において年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限されることから、慢性的な人手不足解消のため**就業規則の改定や採用計画に動く**企業が増えると予測される。



物流のDX化

人手不足への対応として、物流業界でもDX化が進行。システムの導入で業務を切り分け、**必要な業務に絞った採用や、新たなポジションでの採用**などDXの進捗によって採用の傾向にも変化が出てくると考えられる。



応募数獲得に向けた待遇の改善や採用ターゲットの見直しなど 採用活動における各社の工夫

1 待遇の改善

- 休日数の増加
- 日給制から月給制への変更
- アルバイト採用による分業化

条件面の改善に加え、積み込み業務をアルバイトに任せるなど配送に専念する環境づくりを行なう企業も。



2 情報発信の強化

- 採用HPの充実
(仕事紹介動画、社員インタビューなど)
- 企業の将来性
- 家族向け会社案内の作成

働くイメージができる情報発信をし、企業の魅力を伝える。



3 業務の見直し

- サービスの導入 (置き配など)
- IT機器活用
- 共同配送

留守でも再配達なくす置き配、ロッカー配達の拡大など未経験でも「働けそう」と思える環境整備を行う。

